

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第5分科会		
テーマ	経済・産業・観光		
開催日	平成26年4月23日	検討回数	第2回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

- (1) 第2回分科会の進め方の確認
- (2) 本市における産業・観光の現状把握について

2. 今回の討議した内容(報告)

(1) 分科会の進め方の確認

- ・分科会については資料のとおり、テーマにおける【実施状況・活動状況・問題点などの現状把握】→【本市としての課題の把握】→【実現可能な解決方法の提案】の順に進めたいと思うが、本日はまず何についての現状把握を行うかを決めたい。
- テーマのうち経済については、範囲が広すぎるため産業・観光を中心に現状把握をしたい。
- また、産業・観光の現状を把握することによって本市における経済の現状が見えてくるのでは。
- 本日は産業・観光の現状を把握していくこととする。

(2) 本市における産業・観光の現状把握について

各産業・観光を現状把握すると共に、問題点や本市の実施状況を把握していくこととする。

① 本市の基幹産業である農業について

- ・農業従事者の減少問題…農業従事者の高齢化や後継者の不足により、農業従事者の減少は深刻な問題となっており、耕作放棄地の増加問題へと繋がっている。
- 市では「新規就農者の支援」、「農地利用集積に対する支援」等の事業を実施し、後継者不足や耕作放棄地解消へ支援している。
- ・砂ぼこり問題…本市では季節的に耕作している農家が多いため、気候的に大風が発生しやすい春先に大規模な砂ぼこりが発生しやすい。
- 市では、ムギ等の緑肥作物の種子配布の補助をし、作付けを推奨する事で土づくりと共に砂ぼこりの低減に努めている。

② 畜産業について

- 農業と同様、畜産従事者も減少しており、高齢化や後継者不足に加え、糞尿等による悪臭や近隣の住宅化により環境問題化されつつあり、畜産業を営む環境は良いとは言えない。
- 市では、畜産業の支援のため、優良な素畜導入の補助や家畜防疫に努め、畜産農家の支援を行っている。

③ 林業について

- 本市では、山林を所有している方はいるため、間伐や森林整備の補助事業はあるが、林業で生計を立てている方はいないという認識である。

④ 観光について

- ・観光資源が乏しい？からか、外から人を呼ぼうという意識が八街にはあまりない気がする。
- ・用草方面は古村や寺などがあり、時代劇などで使えそうだが。
- ・市では、八街市観光農業協会と協力して観光農業の推進を図っている。

3. 次回の検討方針

商工業を中心に現状把握を行う。

また、今回検討した、農業・畜産業・林業・観光について、問題そのものがどのような状況にあるのか、市の実施事業等の取り組みにおける問題点などについても検討を行う。